

【2024.8.1 発信 VOL.86】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.86 は、以下の内容でお届けします。

- 今夏の異常気象に備えて
 - 令和7年度予算の概算要求基準について
 - 農作業中の熱中症対策の更なる徹底について
 - 農福連携推進ビジョンの制定について
 - ノウフクアワードについて
 - 「マフ塾 2024」について
 - 各種講演を精力的に実施
 - 活動状況(2024.7.1～2024.7.31)
-

■ 今夏の異常気象に備えて

参議院議員の進藤金日子です。

・8月に入りました。東京では、7月18日の梅雨明け以降、最高気温が34℃を下回らず、35℃以上の猛暑日も8日間を記録しております。また、全国では40℃を超える極端な高温や突然の豪雨など、今年も異常気象とも言える現象が頻繁に発生しています。

・7月25日から30日にかけて、山形県、秋田県の日本海側を中心に梅雨前線や低気圧の影響で豪雨となり、河川の氾濫や土砂災害など、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被害にあわれた全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。現段階では被害状況の全容は明らかになっていませんが、ため池の決壊や水路への土砂流入等、農業用施設の被害が確認されております。速やかに被害状況の把握に努め、早期の復旧がなされるよう支援してまいります。

・今夏は、「熱中症警戒アラート」が全国で668回発表(7月31日現在)されています。また、気象庁の向こう1ヶ月の気温の見通しでは、暖かい空気に覆われやすいため全国的に高温となり、特に、8月前半は全国的にかなり高くなるとの見通しが示されております。熱中症による健康被害、農産物や家畜の生育被害などが心配されるところです。農作業中の熱中症対策を徹底し、生命を守ることが重要です。「熱中症対策パンフレット&熱中症対策関連情報集」(農林水産省ホームページ)などの情報については、下記に記載してありますので、ご参考にさせていただきたいと思います。また、豪雨災害も懸念されるところです。万が一の事態を想定して、平素からの避難施設の確認や防災グッズの準備等を心がけて頂きたいと思います。

・7月29日、令和7年度予算の概算要求基準が閣議決定されましたが、改正された食料・農業・農村基本法の基本理念に掲げる「食料安全保障の確保」、「環境と調和のとれた食料システムの確立」、「農業の持続的な発展」、「農村の振興」を進めるためには、各施策を実現するための裏付けとなる予算の確保が重要です。自民党では、来年度からの5年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置付け、必要となる農業施策を集中的に実施するよう政府に求めています。まずは、この5か年間で進むべき重要施策を来年度の概算要求でしっかりと要求し、

そして、施策の実行に必要な予算を確実に確保することから始めなければなりません。そういう意味から来年度の概算要求は非常に重要な意味を持っていると考えています。普段から皆さまから伺っているご要望やご意見等を踏まえ、必要な施策が概算要求に反映されているかチェックしながらしっかりと対応してまいります。

・猛暑の日が続いております。皆さまにおかれましては、くれぐれも体調管理にご留意願います。引き続きのご指導の程よろしくお願います。

■ 令和7年度予算の概算要求基準について

・7月29日、「令和7年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」が閣議了解されました。

・今回の概算要求基準では、裁量的経費については、前年度予算額から10%削減することとし、その上で持続的・構造的賃上げの実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本的強化を含めた新たなステージへの移行に向けた取組の加速、防衛力の抜本的強化を始めとした我が国を取り巻く環境変化への対応など、重要政策課題に対応する等のため、「基本方針2024」及び「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024改訂版」等を踏まえた重要な政策については、「重要政策推進枠」として、裁量的経費に掛かる削減額と義務的経費の削減額の合計の3倍まで要望することが可能となっています。

・なお、要求・要望は賃金や調達価格の上昇を踏まえて行うものとし、予算編成過程において適切に反映することとされてます。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(財務省ホームページ)。

https://www.mof.go.jp/policy/budget/budger_workflow/budget/fy2025/fy2025.html#gaisan

■ 農作業中の熱中症対策の更なる徹底について

・農林水産省は、熱中症対策として「熱中症対策パンフレット&熱中症対策関連情報集」や「熱中症特別警戒情報発表時の農業現場への注意喚起等の対応について」ホームページで情報配信を行っております。

・本年7月1日～7日の1週間に農作業等を行っている際に熱中症により救急搬送された方は、前週の47人から204人に大幅に増加し、本年の最高値を更新したとして、農林水産省は7月10日に「農作業中の熱中症対策の更なる徹底について」の事務連絡を発出し、生産現場に対して重ねて注意喚起を行うことが極めて重要であると指導しています。

・皆様におかれましては、これらの情報に注意を払いながら農作業中の熱中症対策を怠らず、安全に過ごされることをお願いいたします。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html

■ 農福連携等推進ビジョンについて

・6月5日、総理官邸にて「第3回農福連携等推進会議」が開催され、「農福連携等推進ビジョン(2024改訂版)」が決定されました。今回のビジョンでは、令和12年度までに農福連携等に取り組む主体数を12,000以上、地域協議会に参加する市町村を200以上とすることを目標としています。また、11月29日を「ノウフクの日」に設定し、関係団体・企業等が連携した普及啓発を推進することとしました。改正食料・農業・農村基本法に農福連携が位置付けら

れ、農福連携は農政の重要施策として位置付けられたと考えています。ビジョンに記述されているように、ノウフクが地域で広がり、未来に広がり、絆が広がるよう、私も努力してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(官邸ホームページ)。

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/noufuku_suishin_kaigi/dai3/siryou2.pdf

■ ノウフクアワードの募集について

・農林水産省はノウフクアワード 2024 の募集を 7 月 26 日（金）から開始しました。募集期間は 9 月 30 日（月）までで、農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等が農林水産分野で能力を発揮することによって、農林水産業と福祉が抱える様々な課題の解決、障害者等の社会参画、地域活性化の実現に貢献している団体等を表彰の対象としています。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/240726_16.html

■ 「マフ塾 2024」について

・7 月 2 日、農林水産省は、夏休み特設サイトとして「マフ塾 2024」を公開しました。

・夏休みに食や農林水産業について学べる特設 Web サイトです。小学生から大人まで楽しめる動画やクイズなど、全国どこからでもアクセスできる、農・林・水のコンテンツが用意されております。自由研究のネタ探しにもぴったりです。是非ともご活用ください。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2024/index.html

■ 各種講演を精力的に実施

・7 月 13 日、秋田県大曲市で開催された「淀川・土買川・檜岡川災害関連工事完成祝賀会」(平成 29 年 7 月、8 月の記録的な豪雨災害により被災した地域の緊急治水対策の完成記念祝賀会)の前に、記念講演として「食料・農業・農村政策と国土強靱化政策の展開方向について」と題して講演を行いました。

・7 月 20 日、秋田県能代市で、21 日、秋田県秋田市及び大仙市で開催された「食料・農業・農村基本法改正に関する講演会」で「秋田の今後の農業を考える」と題して、宮崎雅夫参議院議員とともに講演を行いました。
